

◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：認定 NPO 法人 川口市民環境会議

23A-18

代表者：代表理事 浅羽 理恵

URL : www.ne.jp/asahi/eco/ecolife

1. 活動が必要とされた状況

子ども環境フォーラムは、川口市内の小・中・高校生を対象とした環境活動の発表の場として毎年開催しています。川口市は市街地と郊外地区では自然環境が異なり、それぞれの地域特性を活かした環境活動報告を聞き、体験を共有していくことが大切です。発表の場は、子供たちの日々の活動の励みになります。また、環境をテーマとしたワークショップを通じ、児童が楽しみながら、生活の中で環境との関わりに気付く場を提供することも必要と考えています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

〈実施期間〉 2020年11月14日（土）

〈発信場所〉 川口市立安行小学校・朝日環境プラザ4F 川口温暖化防止活動センター

〈参加人数〉 104名

〈活動内容〉 環境活動発表5グループ ワークショップ6つ。発表は、現地からのLIVEと事前にとったビデオの配信の2通りです。

1部は、在家小エコクラブ→自然っ子クラブ→安行小子どもエコクラブ（ビデオ）→小谷場中環境科学部（ビデオ）の活動発表を配信。2部は、LIVEで「地球環境からの話」→「縄文時代の遺跡が語る川口の歴史」→「3R・混ぜればごみ・分ければ資源」→「自然・生きもののつながり」→「エネルギーって何？」→「SDGsってなあに？」。各5分で順に各場所からワークショップ発表を、ホストPCが各担当のカメラにつないで配信しました。



3. 活動の成果

インターネット開催によって、市内広範囲から参加者を募れたのは最大なる効果でした。申し込み者には、事前にパソコンやスマホからスムーズに参加できるよう「Zoom」の接続方法のYouTube動画作成、説明文のメール配信など詳細に説明し、無事参加完了できました。事後アンケートでは、画面をクリックする事で回答を得られ、時間も内容も好評価でした。結果を画期的、迅速に確認できました。カメラワークを通して、画面一杯に状況を映し出すことで、参加者も実体験しているような感覚を持つことができたと思います。

4. 今後に残された課題

開催日が土、日曜日となるため、開催校を確保するのが難しくなっています。今後は学校に限定せずに、公民館やその他の場所も検討していく必要があると思われます。今回のようなインターネット開催をする場合、パソコンが使える環境が前提で会場設定をすることが必要になります。

また、NPOやボランティアが高齢化しており、人材育成や人材確保も課題となります。